

丸の内合唱団 第一回定期演奏会

2010年10月2日(土)

M_{丸の内} Chorus arunouchi

すみだトリフォニーホール 大ホール

開場12:30 開演13:30

入場料 1500円 全席自由

高田三郎 混声合唱組曲『水のいのち』

G.F. Handel 『Messiah』 抜粋

オペラハイライト

G. Verdi 『椿姫』 より「乾杯の歌」

G. Bizet 『カルメン』 より「ハバネラ」他



指揮 神尾 昇

ソプラノ 宮部 小牧

アルト 田辺いづみ

テノール 倉石 真

バス 原田 圭

ピアノ 鈴木 美苗

東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団

三菱UFJ信託地域文化財団助成事業

後援：株式会社東音企画

協力：ローランド株式会社

お問い合わせ

丸の内合唱団 事務局

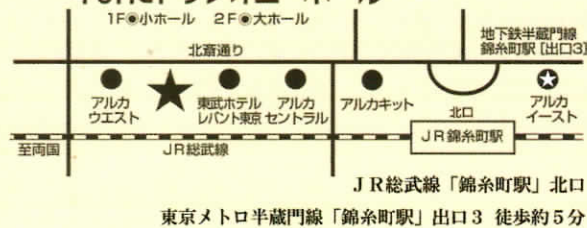
電話 090-6343-2711

e-mail maruticket@gmail.com

丸の内合唱団 ブログ

<http://marugatsu.cocolog-nifty.com/>

すみだトリフォニーホール



※未就学児のご入場はお断りいたしますので、予めご了承ください

※なおチケットは、ホール窓口でも取り扱っております。トリフォニーホールチケットセンター 03-5608-1212

合唱団指導・指揮 神尾 昇

指揮者、オペラ演出家。香川県、小豆島出身。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学指揮科に再入学、首席で卒業。同大学では、新設された奏楽堂にて初の卒業式を記念する、オペレッタ「こうもり」の総監督をつとめた。上野の森オペラ座を主宰し、自ら日本語訳を制作、「オペラをより身近に」をモットーに指揮科在学当初から活動を始める。2010年1月、自身の指導指揮している合唱団を一堂に会し、杉並公会堂で「第一回 神尾合唱祭」を開催。青年団協議会・全国青年大会合唱部門の審査員。2005年5月から6月にかけてヨーロッパで行われた「第一回ベラ・バルトーク国際オペラ指揮者コンクール」において、最終ラウンドを待たずして「審査員特別賞」を受賞。受賞者披露のガラコンサート「カルメン」では、終幕を指揮し、その模様は国营放送でも放送された。

神尾昇ブログ <http://blog.goo.ne.jp/n-kamio>



Piano 鈴木 美苗

ピアニスト。東京都生まれ。'00年第6回全日本ベストプレイヤーズコンテストにてピアノ部門優秀賞受賞。'02年東邦音楽大学音楽学部音楽学科1年次在学中、同大学管弦楽団とグリーグのピアノ協奏曲を共演。'05年第126回定期研究発表演奏会にソロ出演。'06年同大学ピアノ専攻を首席で卒業後、日本ピアノ調律師協会主催第7回新人演奏会、読売新聞社主催第76回新人演奏会に出演。'07年上福岡フィルハーモニー管弦楽団とモーツァルトのピアノ協奏曲第21番を共演。また、大学在学中より市民オペラや合唱団の伴奏等に積極的に取り組み、現在は主に声楽伴奏者として活動中。

'09年度より東邦音楽大学ピアノ伴奏要員。



Solist



Soprano 宮部 小牧



Alto 田辺 いづみ



Tenor 倉石 真



Bass 原田 圭

Orchestra 東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団

日本新交響楽団を前身として1973年に結成。1997年に三石精一氏を音楽監督に迎え、「東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団」と改称し、同年4月に「第一回定期演奏会」を開催して以来、充実した活動を続けております。定期演奏会、名曲コンサートなどの自主公演は48回を数え、名曲のより質の高い演奏で、クラシック音楽愛好家の拡大を目指しています。オペラ・バレエ公演では、精緻なアンサンブルが高い評価を得て、2008年は2月にワーグナー《妖精》、7月にビゼー《美しきパースの娘》（以上、東京オペラプロデュース定期公演）、9月にはドニゼッティ《愛の妙薬》（ミラマーレ・ムジカ）、11月にプッチーニ《ラ・ボエーム》（主催：財団法人日本オペラ振興会）、2009年には1月にゲッツ《じゃじゃ馬ならし》（東京オペラプロデュース）、3月にチャイコフスキー《白鳥の湖》（東京バレエ団）、6月にマスカーニ《カヴァレリア・ルスティカーナ》、レオンカヴァッロ《道化師》（渋谷シティオペラ）など出演しております。この他にも、様々なジャンルやユニットとのコラボレーションにも意欲的に取り組んでおり、それぞれ好評をいただいております。一方、「感動ある生きた音楽を」をテーマに、青少年の情操教育の一助として〈学校音楽鑑賞会〉を続け、全国の自治体、教育委員会をはじめ、民音などの各鑑賞団体主催のコンサートにも出演し、大きな感動の輪を広げております。

丸の内合唱団とは

2005年、文化庁「丸の内元気文化プロジェクト」1周年を記念し、大手町・丸の内・有楽町エリアの女性ワーカーを中心として設立された「丸の内女声合唱団」が前身。2005年大晦日、おそらく世界初の試みとなる女声だけで第九を合唱。翌年2006年より混声となり「丸の内合唱団」として、大手町・丸の内・有楽町エリアから歌で文化力を発信する活動として毎年5月のラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン「熱狂の日の音楽祭」、大晦日の丸の内ガラ・コンサートでの第九の合唱だけではなく、コンピレーションアルバムへの参画、NHK番組出演、松任谷由実との共演、東京藝術大学とのコラボレーションによるオペラハイライトなど幅広い音楽活動を展開中。本年設立5周年を記念し初の自主公演となる。